



CHANDLER™
LIMITED

EMI



TG OPTO 取扱説明書



www.umbrella-company.jp

* この取扱説明書は株式会社アンブレラカンパニーが正規に販売する製品専用のオリジナル制作物です。

無断での利用、配布、複製などを固く禁じます。

ステレオ・アプリケーション

TG Opto はノンリンクのモノラルコンプレッサーですが、ペアでステレオプログラム素材に適用することができます。ただし、コンポーネントのばらつきのため、マッチングしていないユニットのステレオ動作は最適でない場合があります。

注：以前に購入されたマッチングしないペアは、追加料金で本国のファクトリーで調整することができますので、詳細は Chandler Limited にお問い合わせください。

マッチドペアは、購入時に追加料金で特別注文できますので、詳しくは Chandler Limited の販売店にお問い合わせください。

操作説明

EMI 技術者が圧縮回路で光検出の実験をしていたことは、あまり知られていません。TG Opto は、Chandler Limited の TG1 Limiter をオプト化したものです。60 年代後半から 70 年代にかけての EMI の歴史的なレコーディングコンソール TG12345 やトランスファーデスク TG12410 に搭載されていたリミッターを再現しています。

歴史的にレベルバックオフシステムと呼ばれていた TG オプトコンプレッサーは、現代ではダイナミックレンジリデューサーとみなされるべきものです。つまり、トランジェントピークを減衰させると同時に、より静かな信号を増幅させるのです。

メーター

プログラム素材に適用された全体的なゲインリダクション量を視覚的にモニターするために、ゲインリダクション・メーターが用意されています。ゲインリダクションメーターのフェースプレートには 0~16dB の範囲でラベルが貼られていますが、16 を超えるとさらに 8 デシベルが追加されます。

プログラム素材が圧縮されればされるほど、メーターの針は右へ、または大きな値へと偏向していきます。

ヒント：針の移動速度で表されるメーターの弾道は、圧縮の開始と圧縮状態から通常レベルへのリカバリー速度を視覚化するためのガイドとして使用することができます。

入力

入力コントロールは連続可変で、希望するコンプレッションを設定するのに使用します。0 に設定すると最も小さく、-10 に設定すると最大です。

注：TG オプトインプットコントロールは、TG1 やツェナーリミッターに実装されているのと同じ方法で動作します。

出力

コンプレッサーのアウトプット・コントロールによって、メイクアップ・ゲインが用意されています。このコントロールは連続可変で、コンプレッションされたプログラムを水平に戻すために使用され、反時計回りに回転させるとメイクアップゲインが減少します。

アタック

連続可変コントロールで、コンプレッションのアタックスピードを設定するために使用します。

NOTES：EMI リミッターには次のようなものがあります。RS114 真空管リミッター、RS124 コンプレッサー、RS168 ツェナープロトタイプ、TG12345 レコーディングコンソールリミッター、TG12410 トランスファーデスクリミッターは、固定アタックを備えていました。

リリース

これは連続可変のコントロールで、リカバリータイムを設定します。

NOTES：オリジナル機の リミッターのリカバリータイムは 6 ポジションの固定でした。

ニー

TG Opto は、2 種類のコンプレッションニーを提供します。シャープとラウンドの 2 種類です。

シャープ・ニー

SharpはTG1やZener Limitersのリミットモードと同等でハードニーです。KneeスイッチがSharpに設定されている場合、コンプレッションはフルレシオになります。

TIP : Sharp ニーを使用すると、プログラム全体のレベルを上げながら、トランジェントピークをコントロールできることがよくあります。

NOTES : 歴史的なEMI TGリミッターでは、Limitモードはスタジオのフェアチャイルド 660 ユニットのカーブを模倣することを意図していました。

ラウンドドニー

ラウンドドニーは、ソフトタイプのニーです。伝統的なソフト・ニーは、トリガーされるとコンプレッションレシオの立ち上がりが緩やかになるものですが、TG1 Opto に実装されたソフト・ニーは、レシオとは無関係に機能します。

補足 : ラウンドニーやソフトニーは、ボーカルやメロディックなプログラムなど、コンプレッションを目立たせたくない場面で威力を発揮します。

IN プッシュボタン

TG Opto のIN プッシュ・ボタン・スイッチをセットすると、コンプレッサーはアクティブになり、逆に外側にセットすると、オーディオ・パスから取り除かれるか、完全にバイパスされます。

